

【基本情報】

クラブ名	SC 相模原		
活動テーマ	体育授業(サッカー)		
実施場所	相模原市立富士見小学校		
協働団体	SC 相模原	PTA	富士見小学校
	相模原市教育委員会		
参加者	富士見小 3 年生	クラブスタッフ	選手
活動期間	2025 年 12 月 4 日(木)		

【活動報告詳細】

■活動目的

「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」の結果が、相模原市の小学校・中学校の児童生徒の体力合計点は全国平均を下回っており、低下傾向にありました。

相模原市教育委員会は、児童生徒の体力向上のため、授業改善の取り組みの一環として、ホームタウンチームとの連携し、調査結果に基づいた生活習慣改善の機会提供を行なっています。

■活動内容

相模原市立富士見小学校 3 年生の 3 クラスと支援級の授業に参加しました。サッカーの単元をクラブで請負い、普及スタッフが授業の進行を行い、選手は子どもたちと一緒に授業に参加しました。子どもたちと一緒に身体を動かす中で、身体を動かす喜びやサッカーの楽しさを共有することができました。

■選手コメント

竹内崇人選手

小学校で子どもたちと一緒にサッカーをし、こちらが大きなパワーをもらう一日になった。一方で、SC 相模原の知名度や人気、地元でさえまだ十分に浸透していないことも強く感じた。だからこそ、こうした地域での活動をもっと積極的に行うこと、そして“強いチームになること”が欠かせないと実感しました。

また同時に、サッカーを「教える」ことの難しさにも向き合った日でした。スクールコーチは、小学生にどうすれば楽しく、分かりやすくサッカーを伝えられるかを考え、話し方、見本の見せ方、声掛け一つに至るまで工夫している姿を間近で見られたのは、自分にとって大きな学びとなりました。

大学時代にも小学生にサッカーを教える機会 was ありましたが、そのたびに難しさを痛感してきました。プレーできると、教えられることはまったくの別物であり、パスやドリブルなど、どんな技術であっても“自分のプレーを言語化できる力”が必要だと改めて感じました。

杉本蓮選手

小学校の体育授業に参加させていただき子供達と一緒にサッカーを行い、貴重な経験をしました。子供達にサッカーの楽しさを教えることの難しさ、そして接し方をどうするかと考える機会になりました。自分にとってはサッカーを始めたての気持ちを思い出し、楽しさを感じました。子供にもいろいろな性格や悩みを持っている子がいる中でその人それぞれに対する接し方や言葉遣いを意識しました。子供にとって良い見本になるように意識しました。今回一緒に授業に参加した皆さんにも相模原というチームを知ってほしいし好きになってほしいと心から思っていたいい機会になりました。

山内琳太郎選手

育成部のスタッフの指導を体験して、小学生に対して明るく接することは簡単でも楽しく指導しながら順序立てて授業を行なっていく難しさが分かりました。小学生と楽しく授業を行えて楽しかったし、SC 相模原のことを知ってくれている生徒もいて普段から応援されていることを実感できる良い時間になりました。小学生も楽しそうに授業を行なっていたので嬉しかったです。もっと生徒たちに試合や公開練習なども含めてたくさん見てもらって夢を与えられるようなプレーを見せられるように頑張りたいです。

■活動写真

